

## 平成27年度 第1回昭和町総合教育会議 議事録

1 日 時 平成27年5月8日(金)  
開会 午後1時00分 閉会 午後2時45分

2 会 場 昭和町役場 別棟会議室

3 出席者 町長 角野 幹男  
副町長 志村 武夫  
教育長 佐野 勝彦  
教育委員長 清水 正夫  
教育委員 太田 學  
教育委員 山田 由美  
教育委員 磯部 幸廣

(事務局関係)

総務課長	内藤 芳男
総務課政策秘書係長	今村 圭一
総務課総務係長	三井 浩樹
教育指導監	柴 茂生
教育委員会学校教育課長	保坂 正造
教育委員会生涯学習課長	篠原 正浩
教育委員会学校教育課学校教育係長	今村 秀紀

4 協議事項 (1) 総合教育会議の趣旨と昭和町総合教育会議要綱について  
(2) 昭和町教育の現状と課題及び今後の方向性について  
(3) 教育大綱について

別紙（議事詳細）

1 はじめの言葉（内藤総務課長）

2 町長あいさつ（角野町長）

※あいさつ内容は省略

3 議事

（1）総合教育会議の趣旨と昭和町総合教育会議要綱について

①総合教育会議の趣旨について

保坂学校教育課長より、総合教育会議の趣旨について説明を行った。

②昭和町総合教育会議要綱について

芝教育指導監より、昭和町総合教育会議要綱について説明を行った。

（質疑・意見交換）

（清水委員長）

総合教育会議の情報公開については、教育委員会の場合と同様に申請を行えば誰でも行うことができるのか。

（内藤総務課長）

教育委員会の場合と同様に情報の公開を行うことができます。

（太田委員）

総合教育会議の開催の回数や時期はどうなっているか。

（内藤総務課長）

年1～2回を予定している。ただし、緊急の用件が発生した場合は随時開催する予定です。

（太田委員）

この会議は革新的なものだと思います。学校評議員制度が10年ほど前からあり、当時は学校に地域の声を反映するというで始まったが、現在は形骸化されていると思う。町長の声が教育行政と連携を持てるという画期的な制度は形骸化したらもったいないと思う。昭和町教育を推進していく上で、これ以上の会議はないと思いますので、回数をできるだけ多く

して意見交換をしたり、その時々課題を町長や行政関係者の耳に入れて教育行政の中に反映できるような会議になればいいと思います。

(内藤総務課長)

町長と教育委員会が密接に連携して、意見交換を行い教育行政を進めるという趣旨もありますので、町長が会議を必要と認める場合は即座に会議を開催し、意見交換を行いたいと思います。

## (2) 昭和町教育の現状と課題及び今後の方向性について

### ① 昭和町教育の現状と課題について

佐野教育長より、昭和町教育の現状と課題について説明を行った。

(質疑・意見交換)

(山田委員)

学校ボランティアの募集や事業の成果を町の広報に掲載したらどうか。

(佐野教育長)

現在、学校ごとにコミュニティスクールだよりを発行し、事業のお知らせや、ボランティアの募集などを行っている。

今年度、押原中学校では、町総合防災訓練に生徒を参加させたい旨を区長会に提案する予定です。広報への掲載については企画財政課と協議していきたいと思います。

(太田委員)

郷土を愛する前に学校を愛せなければ郷土は愛せない。子どもたちや地域がどうすれば学校を愛せるかが問題。学校は敷居が高いので、地域の文化の拠点、人々の和みの拠点にするにはコミュニティスクールを昭和町の柱にするくらいの決意が必要だと思う。学校運営協議会の役員を決め、会議を開催するだけでいいのか。教育昭和の大きな柱にしてくのか。もともと押原小学校1校で押原教育と言っていたが、これだけ学校の個性が出てしまうと、昭和で学ぶ者の共通性は希薄になってきていると思う。コミュニティスクールを地域との連携で続けていき、昭和教育が地域と子供たちと保護者の共有の財産になる絶好のチャンスなので、学校が関わっていることが誇りや自分の喜びになったり、地域の人たちの評価になったり、町民のためのコミュニティスクールになってほしい。何らかの形で情報交換・活動公開ができればいいと思う。

(磯部委員)

平成30年までに何ができるかという成果目標を作成すれば、評価の目安になるのではないか。

(佐野教育長)

確かに成果目標は必要な事だと思うが、なかなか目標どおりにいかないことが多い。教育の成果はすぐ数に出てこないの分かってもらえないことがある。教育現場としては、目標は達成できなかったが努力したことは認められなくて、数だけが先走りしてしまう。教育は目に見えた形が出てこないことや、数値はかえって足かせになってしまうことを考えた中で、目標は数値ではなく、満足度に切り替えた。

(磯部委員)

学校の年度ごとの取り組み状況について評価していくのか。

(佐野教育長)

学校ごとに、実際どのような取り組みをしたか、また結果はどうなったかについては報告してもらおう。一つひとつ目標に取り組んでいく中で、教育の質の向上を行っていきたい。

(磯部委員)

第6次昭和町総合計画との関係はどうなっているか。

(内藤総務課長)

第6次昭和町総合計画に反映したいと考えている。

(磯部委員)

男女共同参画についての教育の機会や取り組みについてはどうなっているか。

(佐野教育長)

昭和教育の中には男女共同参画は直接入っていないが、キャリア教育・男女共同参画の視点について、学校では人権教育を行っている。人権教育の中で男女共同参画を学習している。

(太田委員)

昭和町には男女共同参画推進委員がいるので、学校で男女共同参画の授業を行う場合は委員が学校に出向いてすることができる体制は整っているため、昭和教育の中に入れることができるのであれば、すぐにでも実践可能ですので検討してほしい。

(佐野教育長)

基本方針の中に男女共同参画を入れることも可能だと思われるので検討していきたいと思います。

(磯部委員)

インフルエンザ等で長期に休んでしまった場合、放課後に先生に聞こうと思っても、先生も部活等があり聞くことができないので考えてほしい。

(佐野教育長)

たとえば、勉強が遅れてしまったとか、休んでいてできなかったとか、そういう子どものために、学力向上フォローアップ授業を考えている。

また、学生ボランティアもお願いしている。今年度も山梨大学と県立大学で説明を行った。学習面のフォローをしていく外部的な講師を使っている。いろいろな問題を整理していきたいと考えている。

(磯部委員)

いじめの問題もあると思うが、特に小学生から中学生になるときに多いと聞いたが、小学校の先生から小学校の先生に生徒の情報を伝えることが大切だと思います。また、カウンセリングも大切だと思いますが、現在どのような状況か。

(佐野教育長)

現状では中学校には全県で1名の学校カウンセラーがいます。その他に学校からの要請によるカウンセラーがいます。

カウンセラーの相談日は決まっていて、利用している生徒は多いと思います。町の学校カウンセラーもいるので利用してもらいたい。

(磯部委員)

不登校についてはどのような対応をしていますか。

(佐野教育長)

不登校の生徒については、長い年月をかけて積み重なれたものが噴出してなる場合が多い。カウンセラーへの1回の相談で治ることは少ないと思う。話をすることによって気持ちは晴れるとか、親の態度が変わったとかという効果はでてきます。カウンセリングというものはすぐに効果が出てくるものではなくて、長い時間をかけてだんだんよくなっていくというような感じでやっている。学校の相談室を使用することで他の生徒にわからないような配慮をしています。

(太田委員)

会議の進行についてですが、ここでやっていることは教育委員会でも十分できることですが、町長と膝を交えて話をすることは初めてのことです。町長に教育委員会で話し合っている課題を把握していただき、町長がどういう昭和教育をつくりたいか固めていく会だと思えます。年1回の会議ではなくて、絵に描いた餅にならないように町長が目指す昭和教育を実現するため、数回の会議を行っていただきたい。

(内藤総務課長)

太田委員のおっしゃるとおり、町長、教育委員会と相談しながらこの会の運営を行っていきたいと思います。

## ②今後の昭和町教育の方向性について

佐野教育長より、昭和町教育の現状と課題について説明を行った。

(質疑・意見交換)

(清水委員長)

昭和町教育基本方針の中で毎年度の重点目標があるが、教育の三原則である「知・徳・体」は年度が替わっても必ず押さえておいてほしいと思います。

昭和町に外国人が増えてきている。特に常永地区が多くなっているように思われる。価値観等違うと思うが、昭和町の歴史的なものを外国人の子どもたちにどのように伝えるか。また、開発が進み町外から転入してくる人が多くなってくると思うが外国人の場合と同様に伝えていき、まとまった社会をつくっていくことは難しいことだと思う。

(佐野教育長)

今年度、町の歴史・文化を学ぶため、社会科副読本を作成することになっているが、日本語、英語、ポルトガル語で作成できるか検討します。

(太田委員)

昭和町の共通の文化遺産である「かすみ堤」、「義清神社」などたくさんあると思うが、押原小学校1校体制だったときは全町的に把握していたと思うが、今は学校が分かれてしまうと、町の共通の文化財の認識はなくなってきたと思う。小学校時代に共通の認識を持つておくことは必要な事だと思う。町内にある教育文化財産については社会科副読本はもとより校外学習等どこかでやっておくことが必要だと思います。

(佐野教育長)

昭和町教育基本方針の基本方針6の(6)文化財保護・愛護の推進がありますが、それを活用して行っていきたいと考えている。

(太田委員)

昔から西条に住んでいる人も梅の木公園はどこにあるが知らないなど局地的な生活をしている。

西条小学校の児童は常永小学校に行ったことがない。もしかしたら、町内の3つの学校の所在地と校舎の中くらいは知っていた方がいいと思う。

(内藤総務課長)

いろいろな話をいただき、皆様の意見を町長・副町長と検討をし、反映していきたい。

### (3) 教育大綱について

#### ①教育大綱について

芝教育指導監より、教育大綱について説明を行った。

(質疑・意見交換)

(太田委員)

町長がいつも言っている「安全・健康・学力・信頼・参加」について、どのようにお考えですか。

(角野町長)

「安全・健康・学力・信頼・参加」を昭和町の基本方針として取り組んできた。そのまま継承していきたいと考えている。

(太田委員)

「安全・健康・学力・信頼・参加」が昭和町の教育のキーワードであれば、どこかに掲げたらいいと思います。

(佐野教育長)

キーワードということではなくて、基本方針の中に含まれている。もう変更してもいいかなあと思っているので、「安全・健康・学力・信頼・参加」の言葉を使っていないが、その精神はこの中に盛り込んでいます。

(太田委員)

例えば、昭和の教育といえば「新しい時代を担う人づくり」ということでいいですか。

昭和の教育は何といった時に、明確にしておかないと。一言では言えないが、昭和はこうゆうものを目指して行くっていうこと言葉は基本理念の「新しい時代を担う人づくり」でいいですか。その辺も良くお考えいただきたい。昭和教育のスローガンをどこかに入れたほうがいいと思う。

(佐野教育長)

「安全・健康・学力・信頼・参加」という言葉は曖昧で幅が広いので、使わないということではなくて、基本方針の中に含んで作成しました。

(内藤総務課長)

ご意見を基本方針に反映していく中で、検討していきたいと思います。

(4) その他

特になし。

4 終わりの言葉 (内藤総務課長)